

バイオサイエンス学科 論文発表

【発表者について】 アンダーラインは本学教員および研究員、※は大学院生、卒研究生または卒業生

題名	Allograft inflammatory factor 1 is a regulator of transcytosis in M cells.
掲載雑誌	Nature Communications. (2017) 8, DOI: 10.1038/nocmmw14509
著者	Kishikawa S, Sato S, Kaneto S, <u>Uchino S</u> , Kohsaka S, Nakamura S, Kiyono H 【神経生物学研究室】
概要	<p>本研究は東京大学医科学研究所との共同研究である。本論文の一部の成果は、我々が作出した遺伝子改変マウスを用いたものである。</p> <p>腸管免疫で粘膜面から抗原の取り込みに重要な役割を担っているM細胞の機能発現に直接関わる分子として、Allograft inflammatory factor 1を同定した。本研究結果により、ワクチン抗原取り込み機能をコントロールした経粘膜ワクチンの開発が期待できる。</p>